

催し多彩に 11月9日 産業まつり B級グルメフェアは 8日 開催

綾部の秋の一大イベント「あやべ産業まつり」(同まつり実行委員会主催)が11月8・9日、今年も盛大に開催されます。多数ご来場ください。

地元の新鮮野菜など販売

産業まつりは午前10時から午後3時まで、西町アイタウンをメイン会場に開催。農林業や商工業団体による新鮮な地元農産物、農産加工品などの販売をはじめ、▽木工教室▽リサイクル・リユースマーケット▽商工業者の製品販売と展示▽綾部工業団地のPRなど催しがいっぱいです。また、スタンプラリーや豪華賞品が当たるビンゴゲームのほか、一般参加イベントでは、楽器演奏や女性消防団の防火啓発など、さまざまなパフォーマンスも行われます。

あやバス全路線無料

当日は、由良川花庭園(青野町)や府総合庁舎(川糸町)



新鮮な農産物は、来場者にも人気

などに約500台分の駐車場を確保。駐車場とJR綾部駅南口、西町アイタウンを結ぶシャトルバスも約10分ごとに運行します。あやバスも全路線で無料運行。会場へのお出掛けにご利用ください。

綾部の美味、特産館に集結



各店舗、工夫を凝らしたメニューを出店予定

あやべ産業まつりと同日に開催していた「B級グルメフェア」は今回、まつり前日の8日に実施。午前10時から午後3時まで、青野町のあやべ特産館で行います。当日は14店舗が出店予定。地元産物を使ったオリジナル料理を振る舞います。多数ご来場ください。※9日は、「すこやかフェスティバル」も開催します。詳しくは、本紙8面をご覧ください。

善聞 語録



56

「サシミ」の法則

「サシミ」といっても食卓を飾る刺身ではない。3-4-3の法則である。すなわち、何か新しい取り組みを始めるとき、一般的に約3割の人は前向きに動き、様子見が4割、そして3割は否定的な集団に分かれると言う例えで、この法則は経験的に概ね多くの事象に当てはまる。しかしながら前向きが3割という少数派では事が動き出さないため、成否のポイントの様子見の4割を推進派に取り込めるかに掛かるが、そのためにはまず少数派の3割の目線をしつかりと合わせておくことが肝要。推進派3割が上手くまとまり徐々に「熱」を発してくれば、自ずと様子見

の4割にも伝わり、やがて7割が「輝き」始める。すると当初は否定的な3割の動きも封じ込めるが、「逆もまた真なり」で、この歯車に狂いが生じると反対派が勢いづくことになる。要は熱い想いの人が3割いれば何事も動かすことが可能となるが、逆にこれがまとまりを欠くと成るものも成らなくなる教訓と理解する。この法則は組織のマネジメントにも当てはまる。規則通りに動こうとするタイプ、様子見するタイプ、そうでないタイプ。微妙なバランスと言えようが、マニュアル通りで通用するのは平時のみで、非常時に力を発揮するのは、日頃はマニュアルに抗っているようなタイプとも言われる。これが真実ならば、想定外の事象が頻発する現代社会において、組織は収まりの良いう「サ・シ」だけで固めることなく、敢えて「サシミ」を抱え込む必要性も出てくるのであろうか…。

山崎善也(綾部市長)

男女共同参画を考えるきっかけに

図画ポスター、川柳コンクール結果

市は、子どもたちに男女共同参画への理解を深めてもらうため、図画ポスターコンクールを開催しました。また、あいフェスティバル実行委員会では、男女共同参画川柳を初めて募集。93点が寄せられ、市長賞などの入選作品が選ばれました。



〈中学生の部〉 福井貞瑛さん

キャッチフレーズ賞 男女が共に 向き合う社会

田畑陽大さん

小中学生から485点応募

3回目となる男女共同参画図画ポスターコンクールには、小学校10校から281点(低学年155点、高学年126点)、中学校4校から204

点の計485点が出品されました。受賞者は次のとおりです(敬称略)。

キャッチフレーズ賞

田畑陽大(綾部中1年)

小学校低学年の部

【最優秀賞】 神田南美(西八田小3年) 【優秀賞】 奥澤吉平(綾部小1年) ▽四方優平(東綾小2年) 【入賞】 近藤幸佳(綾部小1年) ▽四村叶音(同) ▽谷口夏々(同) ▽藤井奏音(吉美小1年) ▽田中萌々香(東綾小1年)

小学校高学年の部

【最優秀賞】 岡花洗輝(中筋

小4年) 【優秀賞】 出野桃愛(綾部小4年) ▽藤原彩音(中筋小4年) 【入賞】 吉田歩由(綾部小4年) ▽池田智音(中筋小4年) ▽森一路葉(同) ▽山口琴子(同) ▽永井楓華(豊里小6年)

中学生の部

【最優秀賞】 福井貞瑛(上林中2年) 【優秀賞】 湯浅俊亮(綾部中1年) ▽廣瀬絢香(東綾中3年) 【入賞】 逢沢真理子(綾部中1年) ▽田畑陽大(同) ▽長南来希(同) ▽山本歩笑夢(同) ▽波多野美成(上林中1年)

ユーモラスな作品多数

10月5日に開催した「あいフェスティバル」の企画として今年初めて募集した「男女

共同参画川柳」。小学生から大人まで市民40人から、男女共同参画社会実現へのメッセージを込めた、ユーモラスな作品が多数寄せられました。

市長賞

遅れるぞ洗濯物はオレが干す

木枝一子さん

入選者は次のとおりです(敬称略)。

【市長賞】 木枝一子(向田町) 【あいフェスティバル実行委員長賞】 木村恭輔(上杉町) 【あいセンター運営委員長賞】 大島裕美(栗町) 【優秀賞】 大槻千代(駅前通り) ▽福井明生(位田町) ▽村岡佑空(館町)

最優秀賞



〈小学校低学年の部〉 神田南美さん



〈小学校高学年の部〉 岡花洗輝さん



「丹波くり」まつり盛大に

特産品の丹波くりを広くPRしようと、綾部「丹波くり」まつり実行委員会が10月4日、宮代町のJA京都にのくに本店前広場で恒例の同まつりを開催。オープニングでは、クリ品評会の表彰式が行われました。その後のクリや加工品の販売などは行列ができるほど盛況で、多くの人が秋の味覚を楽しみました。



人権を考えるセミナー

市教育委員会は「人権を考えるセミナー」を里町の中央公民館で8月から12月までの5回にわたり開催しています。

2回目となる9月26日は、徳島県で結婚差別の相談員をする弘瀬喜代さんが「ほんとうの勇氣とは、やさしさとは」と題し講演。結婚差別の厳しい実態を紹介し「差別で辛い思いをしている人がいたら、勇氣を出して1人でも協力者になってほしい」と来場者に呼び掛けました。



秋晴れの上林を快走

9月23日、睦寄町の二王公園を発着点に「里山サイクリング in あやペ」(同実行委主催)が開催されました。小学4年生から78歳の高齢者まで、市内外から511人が参加。水源の里を巡る25キロと60キロのコースに分かれ、さわやかな秋晴れの上林を駆け抜けました。

上林川を美しくする会大会を開催

川辺のヨシ刈りや水生生物調査などを通じて川の環境保全に取り組む「上林川を美しくする会」は9月28日、八津合町の観光センターで同会大会を行いました。東綾中学校生徒の合唱や事業報告などに続いて、落語家の桂三風さんが上林を題材にした創作落語を披露。来場者は笑いを通じて、ふるさとの自然を守り伝える大切さを再確認しました。

「みえらせ、次代へ引き継ぐ」



あいフェスに700人



「笑顔の花咲くまち あやペ~広げよう 男女共同参画の輪~」をテーマに10

月5日、西町一丁目のI・Tビルであいフェスティバル(同実行委・市主催)が行われました。男女共同参画の推進や地域活性化に取り組む団体などがステージ発表やワークショップを実施。午後には、声優で歌手の佐久間レイさんとピアニストの佐田詠夢さんによる講演もあり、延べ約700人の来場者でにぎわいました。



水夢の協力で完成
今年誕生した「まゆピーの歌」の振り付けが9月に完成。青野町であやペ健康プラザを運営する第3セクター「水夢」の協力を得て制作しました。まゆピーの雰囲気にも合った、可愛らしい振り付け。今後、イベントなどで紹介したり、子どもたちに踊ってもらったりして幅広く活用します。振り付けは、市ホームページ(<http://www.city.ayabe.lg.jp/koho/shise/koho/mayupe/index.html>)からご覧くださる。丸い体から動きイメージ振り付けを考えてくださる。

一緒に踊ろう!
♪つばらな瞳は にっこりにこ
腰に手を当てて右に3歩移動→ほおに手を当てて左に3歩移動
♪ちよっぴり太めで かけっこ苦手
腰に手を当てて右足のかかと・つま先・かかとの順にトントン→左足でもトントン

た水夢インスタクターの坂上美奈子さんは「一曲を初めて聞いたとき、まゆピーの可愛くほのぼのとしたイメージによく合っているという印象を受けました。まゆピーの丸い体からイメージして、回転したり腕を回したり、円を描くような動きをたくさん取り入れ、子どもたちにも覚えやすいように考えました。しゃがんだり飛び上がった運動量もあり、子どもから大人まで幅広い年代の方に楽しんでもらえると思います」と、振り付けについて詳しくは秘書広報課 ☎内線217へお問い合わせください。

♪それでもめげない! 元気がいっぱい!
しゃがむ→大きく手を広げて立ち上がる×2



右腕を上げる→左腕を上げる
♪まゆピーが好き!
♪綾部大好き!
♪声を合わせて
♪歌おう!
両腕を回しながらジャンプしてガッツポーズ
ジャンプしながら体の前で3回手を叩く